

刊夕 日二廿月八

# 常磐毎日新聞

定価 一部全紙 一月五拾五銭 郵税五銭  
廣告料 五拾五銭 電話一 行金五拾五銭  
日曜祭日の翌日休刊  
発行所 常磐毎日新聞社  
印刷所 常磐毎日新聞印刷株式会社

## う蘭盆縁起と 施餓鬼經の話

真繼 雲山

三、孟蘭盆縁起の物語り  
そのとき釋尊は、目連に教へ給ふやう「汝の母は罪深くして到底、汝一人の力では救ひ出すことは出来ぬたとへ汝が、母を懐ふの情あふれて、その聲、天地を動かしたとて亦た以て如何ともすることは出来ないものである。今はたゞ十方の衆僧の威神力を藉りるの外に道がない。恰もよし七月十五日は、修道者の自恣の聖日（懺悔潔斎して清淨となつた日）であるから、この日をえらみて百味五菓等、世の甘味を盡くして十方の衆僧に供養するならば、彼れ等は皆な同じく一心にこの供養を受けるであらう。その清淨の戒を持つてゐる

## ノート

個人所有  
の名實が  
國寶に指  
定された場合には一件に  
つき年六圓以上百圓の補  
助金が貰へる同時に輸出  
は嚴禁される

聖衆の功德たるや實に汪洋たるものがある、その聖衆に供養する廣大な功德によつてのみ亡世の父母、六親

眷族の三途の苦患を救ふことを得るであらう」と申されました。孝順その者の目連は、教へられたその通りに行ひました。このとき釋尊は、十方衆僧をして供養を受けしむる前に、目連をして、その家の亡世の父母のために、禪定を修むるの

## 明日の献立

【朝】 味噌汁——馬鈴薯 小付 焼のり  
【晝】 から煮 いんげん  
【晚】 冷奴 花かつを 鍋 齒片肉（コルペンニ）

意をなさしめられました。斯やうにして後、聖衆たちは、その供養を受けましたところ、目連のてい位の聲も釋然として除かれ、十方の聖衆たちも大いに歡喜し更に目連の母はこの日に於いて餓鬼の苦患から免れ、樂處に轉生することを得たといふのであります。

四、孟蘭盆會は全人類を描いた姿

『佛説孟蘭盆經』の經典を讀んで、私たちは教へらるべき多くのものを發見します。その第一は、一たび造つたところの宿業は、六道に輪轉して何處までも消ゆることはないといふことであつて、現に目連の母は

餓鬼道に墮ちて、無財鬼といふ鬼類の内の炬口鬼といふものに、なつて居りました。無財鬼と云ふのは飲食を得べき福徳が全く缺けてを鬼類でありまして、そのうちの炬口鬼といふのは口中より常に火焰を吐いて己が身を焼いてゐるのであります。

されど一たび造つた業は何處までも責任を背負はねばならぬ、如何にするとも永久にその責苦から免れる術がないといふことであるりますならば、佛法といふも證ない話であります。然るに他の原因を修し、縁を加へることによつて、その罪苦を免れしめらるゝ、若しくは重きを轉じて輕く受けしめらるゝといふところが佛法の救済があり、有り難さがあります。先亡のたまひひは今、十界の内の何處にゐられることか、それを知るに由なき以上、私たちはひたすら身を謙虚にすし、如來の大慈大悲にすがつて、追福修善を勵むの外は、ないことであつて、さうして本篇の主人公目連尊者の母は、罪根深結とありて並々の罪ではないその結ばれたところの罪苦は極めて深い。それゆゑ通り一遍の追善供養ではとても助からない。

## 外科 内臓 外科

### レントゲン線

醫學博士 諸橋 鐵彌  
◎新川町二七（電四六四）

◇備完室病◇

盛夏の宵……

御散歩のお歸りには

愛飲家諸氏の爲に生れた

サケノイ 酒の家・喜多八へ

是非一度お立寄り下さい

大衆的酒場 酒の家

素人小料理

喜多八

平町世界館前（丸新デパート）

## 喜多流謡曲と仕舞の

お稽古をお勧め致します

平田町九六

喜多流 謡曲 仕舞 白土會

詳細は本會へ御問合せ下さい 電二二七番

## 是非！

御融通には御利用下さい  
萬事便利な御相談に應じます

三井質店

平四・電六〇六番

電話六四〇番

皆様のタクシーへ

此度は夏にふさはしいすがくしい色彩のニーアクシオン式新車が入車致しました、自動車の御用命はチリンチリン六四〇番を御呼び下さる皆様を新車と共に従業員一同御待ち申して居ります。新車も揃ひましたから遠乗の御用には特に御相談に應じます。

尼子タクシー

電話六四〇番

産婦人科 院長 木村寅次郎

外科 醫學博士 内木宗八

藥局 藥劑師 立番彌一

平町新川町十九

木村病院

電話一六四番

すばらしい新型の

婦人子供服豊富

一流デパート専屬の婦人子供服製造元よりの直仕入たる新型服は店內豊富に陳列してございます。夜の御散歩には是非店内を御自由に御覽下さい。

平町二丁目

山家メリヤス店

電話六〇五番

# 盆景氣の打診

## 各記者八方に飛ぶ

### ▼明夜からの歡樂境を

### ▼前にして平町の容態

傳統の光りに輝く初秋の夜、石城の盆祭り、は愈々十三日夜の迎え火をプロローグとして舊曆十四、五、六の三夜に亘り炬火を背景に近在若衆の狂舞ジャンガラ念佛、町の若人の血を躍らす盆踊り等昔ながらの繪巻物華やかに展開されるがさて此の「盆景氣」の容態は如何に？、本社記者がけふ八方を打診して得た報告に依れば左の如くである

### 無暴を避けた

### 堅實な歩み

### ▼平穩な金融状態に

### ▼商家の進歩を見る

### A 記者

平町興廢のパロメーターであり中小工業者唯一の金融機關とも云ふべき信用組合平庶民金庫の盆を控へての景況は？……同金庫の去月未現在成績は貸付金額二十七萬一千九百九十六圓七錢、預金額三十二萬六千八百六十九圓五十錢であるが八月に入り舊盆前の状況は

一日平均 貸付、預金各七千圓乃至一萬圓程度で前年までの盆前成績に比し約三割五分の減少を見せ平町の資金需用の閑散ぶりを如實に暴露してゐる例年ならば舊盆を

目當てに一儲け計つて資金の大量借入を

### 「盆荷」の動きは

### 昨年よりも劣る

### B 記者

平驛貨物取扱所の盆荷發着状況は未だ詳細な統計を見るに至らないが

▲上二到着三三一七噸

發送一七二七噸、收入一九一六圓▲十一日乃至十五日、到着二〇〇七噸、發送九三七噸、收入一六

一四圓▲合計到着五三二四噸、發送二六六四噸、收入三五三〇圓

で概して昨年より不成績「盆荷」の動きらしい動きは見られない、昨年八月中の成績

▼到着八一六七噸、發送二九〇四噸、收入五五九二圓

に比較し幾分の黒字を出せ

### 舗装が崇りました

### 吳服屋さんはかこち顔

### C 記者

吳服屋さんの話——今年はお呆れました、夏物營業の買入時の六、七月があつた天候不順でガラリ目算が外れましてねえ、お陰でこんな夏物のストックでサア、盆が迫つたと思へば舗装工事は崇られる全く浮ぶ瀬がありませんよ、忙がしい

### 提灯屋さんは……

### 満更でなさそう

### C 記者

盆の寵兒提灯屋さんの話——昨年と大差ないやうです

岐阜提灯なんか矢張り高價なもの、賣れ行きが香しくありませんね、安物は大概羽が飛ぶやうに賣れましたがね、たゞ名入れ提灯は最初から見越して手配薄だつたところへ開際になつて一時にどつと注文が来たもんですから面喰ひましたよ

### 盆祭り中

### 乗入禁止

### 町外れまで

平署では明日からの三日間の盆祭り期間に炭鑛、農村等より押寄せる民衆の交通安全を期する爲め終夜運轉する乗合自動車は午後七時

から十二時迄湯本、平間は長橋町尼子橋迄、四倉方面は鎌田遊廓前迄、片濱方面は月見町片倉工場前、好間禁止する事になつた

### 世界館對平館の陣營を偵察する

### 試合開始のサイレン鳴る

### D 記者

書入盆興行！夏枯れの類勢を一舉に挽回せんと平町映畫界は華々しくプロを飾つて平館對世界館の爭覇戦が明二十三日から展開される先づ

### 世界館の陣容を見る

とトップ打者がバスター。クラブ主演のプリンシパル社「無敵タルザン」これで敵投手平館君を脅かさんぞ威勢、次打者は新興入江プロの悲詩「月よりの使者」の内野安打で無死二走者、續くは「赤城の子守唄」で全國を風靡した、松竹全發聲時代劇高田浩吉主演の「淺太郎赤城の唄」の二壘打で得點厩的優勢を誇らんとしてゐる、是れに對する

### 平館は傳統的王者の貫祿を見せて強敵世界館の陣營を攪亂せんと日活全發聲大河内傳次郎主演「丹下左膳」夏川靜江、同大二郎鈴木傳明主演「心の太陽」のバッテリーに輕妙のメトロ發聲漫畫「モロッコの戀」を難關遊撃に据えこのトリオで世界館の強打者を三振、凡打に打取らんとこの意氣込み物凄、どうやら決

### 夏秋蠶の購入資金

### 融通希望取纏

平蠶業取締所では管内繭市場の夏秋蠶の購入資金の融通希望を取纏中であつたが此程四倉市場から五萬四千五百圓、植田市場からは一萬八千圓の申請があつた

### 販賣利用總代

昨報石城販賣利用組合惣代人選舉其後の分大野村は小野善太郎氏、折内志馬太郎氏々當選した

### 法曹對營林

平法曹團對營林署の野球戦は本日本午後一時より平商球場に於て舉行された

### 平町人事

△南町當時横濱市神奈川區反町一二 佐川四郎氏長男善男

### 五晝夜を要する

## 大出水

### 坑夫三名は 未だに生死不明

昨廿一日午後一時五十分頃、赤井村畑子澤地内川瀬炭礦第一斜坑地下七百尺の地点で岩盤が突然崩壊し同時に物凄く泥水を噴出し初めたのを同礦現場監督赤井隆君(三)が発見し折柄二時の交替で坑内に集合して居た六十餘名の坑夫へ急を知らせたので大部分は脱出したが坑内最低部にあつた安積郡川内村生れ坑夫古川吉三郎(五)川部村字下川原生れ中村勇吉(三)朝鮮全羅南道咸

## 水泳の雄!

### 磐中選手精進

#### 近縣競泳出場を前に

過般仙臺市に於て開催された關東北、北海道中等學校競泳大會に出場各種目に驚異的記録を示し見事優勝の榮を荷つた磐中水泳部は来る三十一日午前八時より福島高商主催の下に同校プールに開かれる近縣中等學校競泳大會に出場の爲め其後またゆまず猛練習中であるが出場選手には過般の開東北、北海道大會二百米胸泳に三分四秒七の大會新記

### 小名濱の 側溝延長

#### 監督所へ陳情

既報小名濱町本町通りの側溝工事は目下九分通り竣功したが本町通りに接続して居る同町定西の區民は此程協議會を開き側溝工事を同區内迄延長せられ度いと本日松原正美外二名の代表者が小林平士木監督所長に陳

### 萬引品を 友達に自慢

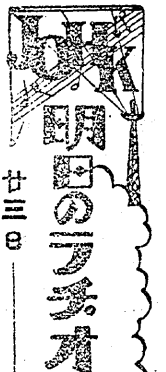
#### 赤井の二少年が 平町に來る度び悪事

赤井村字常任同村第一小學校五年生吉田留吉(二)假名及び六年生佐藤春雄(三)假名の兩者は本年一月頃から平町に出掛る毎に隣前いづみや玩具店、マルトモ書店等で人混みを奇貨とし店員の眼を盗み玩具や學用品等を窃取し學校で自慢氣に友達に見せびらかして居た事發覺本日兩名を平署に引致し刑事室で取調中

### 酒なしデー

#### 徹底を圖る

平町各中等學校及び各小學校では來月一日全國一齊に行れる酒なしデーに際し本縣學務課より通牒に接したので當日は講演其他の方法により此の日を設定し趣旨の徹底を期すべく目下準備中



明日の天気  
今晩も明日も南西の風晴曇半す

今晩の部  
後六、〇〇 子供の時間  
子供の音楽講座(樂譜の読み方) 佐藤 益喜  
後八、〇〇 新内「傾城三度笠」 鶴賀吉之助  
後八、二〇 浪花節週間(第三日)「稻妻お玉」

明日の部  
後九、〇〇 青年特別講座「現下の世界事情と日本の地位」 横田喜三郎  
後九、三〇 時報ニュース 氣象通報 番組預告

明日の部  
前六、三〇 夏期英語講座  
其儘に毎朝各訓導指導の下にオイツチニッサンの號令に合して元氣な体操を續けて居る

裁判所たより  
△昨報勿來町大日本炭礦勿來坑に炭礦雜夫として雇はれ中勿來町大字酒井字出藏二〇勿來坑労働組合所柏原玉市方から金鎖付金側懷中時計一個價格百二十圓及び現金約十五圓在中の財布を窃取懲役一年を求刑された錦村大字中田字須賀八目下住居不定前科二犯坂上林兵衛(七)に對する判決公判は本日午前十時半より平區裁判所に於て香西判事係り吉岡檢察立會の下に開廷懲役八月を言渡された

### 盤景陳列 明日に延期

#### 昨日平盤景研究會は今二十

昨日より一丁目伊關吳服店內に會員の力作を陳列一般に觀覽せしむる筈であつたが大規模の飾り付けを要する爲め前準備意外に手間取り陳列は今晚迄かゝるので止むなく明日より一般の觀覽を乞ふ事に一日だけ延期した由

### 益の小遣錢欲しく 母親が悪心を起す

#### 娘の拾得した金時計を 他に賣却して横領

内郷村大字高坂字御殿選炭夫松本キヨ(三)は本月一日長女のミエ(一)假名が道路で拾得した金製腕時計を見て益の小遣に窮して居る際とて悪心を起し去る廿日平町の某時計店に八圓で賣却した事發覺拾得物横領として取調中

平職業紹介所報告  
△出前持 二十前後 尋卒  
△給料面談  
△鍛冶工 四十以下 尋卒  
給料歩合

### 季節鳥料理

やな川  
なぎ  
はぎ  
平田町  
魚榮へ  
配達迅速  
電話四二四

△配遊夫 卅五才 尋卒  
給料歩合  
△職を求める方  
△職工 廿一才 農學卒  
給料面談  
△事務員 廿五才 中學半退 給料面談  
△土工夫 卅五才 高卒 給料面談  
△鐵工 十八才 高卒 給料面談

# 新進新音頭

(警務殿上殿及上殿)

田邊南龍(作)  
山本英春(書)

一一六:

梅野の身の上話  
『そして妾の不在に良人藤助を鞍狩峠へ引出して殺しその腰の物を奪ひ取つて逐電をしました、借債はありまするし、良人の跡片付けや何やかやの爲に當所に身を賣りました次第、それで段々御上でも調べて見ると萬屋利兵衛といふものは中國浪人の杉田金兵衛と云ふもの、手代といふのは白狐六藏といふ奴だそうで、その白狐六藏と云ふのは目地金のおふじと云ふ女房を持つて居りまして、平常博奕を打つて資本がなくなると身投げの真似をして金子を取り、或は大家へ行つては騙りをいたして居ります、何卒敵を討ちたいとは存じて居りますが女の瘦腕貴郎方をお見掛申して願ひますが、敵を討つて下さりますまいか』

云ふと長兵衛始め  
『そりやアどうも憎い奴だ人を殺すにもことを缺いて旨を殺して脇差を奪はうとは怪しからぬ奴、是非とも敵討ちをしてやらう、早々に人相書を書け』  
といふのは攝州泉州何處でも子分が居る、それ廻す爲に人相書を書いては



かういふ、人相はかういふ見當り次第申出るやうにと書いて子分のところへ廻す梅野は大層悦んで居る。『さて梅野さん、隣の話し

五郎吉に子分が  
『どうも江戸の元締さんは偉いそれ故日本一の男になんすつたんだが、實にあゝしてえもんだ』  
『俺達は一分ありやア一分で女郎を買つてしまひやアがあるが、少とさういふ錢があるなら恵んでやれ陰徳にならア』  
『ヘー今一兩恵んでやつたら何時歸つて來ます』  
『馬鹿をいへ、腹の空いた

を聞いて酒が甘くない、これから遊びに行かう』  
といつて皆々遊びに出掛ける

『俺は飲み過ぎたから』  
と云つて小喧嘩の五郎吉は漸う疵は癒つたが、未だ毒断ちをして居るものだから、子分を三人連れて一同に別れて戻つて來る、途中

時に飯を食つたやうな梅鹽に、直ぐ利目あるもんか』  
『それぞア嫌だ、的のねえことが出来るもんか女郎買に行けば直ぐ其の功驗はある三吉さんよう來なんしたと悦びますア』  
『汝達はそんな了簡だから二六時中親分の提灯持ちをして居やア』

長兵衛さんは感心なこつた  
……』  
と云つて話をして太左右衛門橋まで來ると橋の真ん中で小柄な女が、頻りに小石を拾つて袂へ入れて居る  
『ハテナ』  
と透かして見ると春の臘月で能く分らんが、やがて欄干のところを手を合して  
『阿母さん、阿父さん先立つ不孝は御許しなされて下さいまするやう……何うも生存ては居られませんが、南無阿彌陀佛』  
と念佛を唱へて居りますから五郎吉不圖考へました  
『ハテナ……この女が目地金お藤で俺達を突掛けるかも知れねえ……三吉貴様ア泳ぎが達者だによつて、河下へ帯を解いて待つて居る飛込んだらあの女を救ひ上げて遣れ、目地金おふぢなれば飛び込む氣支へねえ』  
『何うも親分まだ寒うございますなア』

八月二十三日より三日間(舊十四、十五、十六日)  
今秋冬の新流行  
吳服大陳列會  
江戸づま、丸帯、錦紗小紋、繪羽織、銘仙  
平町 三井吳服店

店主	が	店員
を	連	れて
か	れ	る
正	シ	イ
正	シ	イ
正	シ	イ
正	シ	イ
酒場	喫	茶
食堂	食	堂
平・田町	ラ	ン
電二五三番	サ	ロ

## 外科全般

(特ニ内臓外科、泌尿、性病科)

醫學博士 渡部

小兒科、内科女醫 渡部さい子

平町役場前(電話二七七番)

## 渡部外科

入院應需

診療午前八時ヨリ午後九時マデ

## 体温計の検査日です

10日 機新  
お宅の體溫計は?  
◎正確な體溫計を御使用下さい  
◎毎月十日の検査日御利用下さい  
計量器 指定販賣人 西村屋藥局 電三番

耳鼻咽喉科専門  
鈴木醫院  
醫學士 鈴木 正男  
平町田町(電話五八番)  
藤田女學校前

## 鈴木醫院

入院のお需めに應ず  
自炊の便あり

寫真材料一式販賣致シマス

## 關内藥局

電話四〇番

秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス

度量衡  
モノサシ  
ス  
ハカリ  
器量計  
體溫計  
寒暖計

吸入用酸素純度99%